



# チームカ合

カ合小学校だより No20  
令和4年3月24日  
児童数: 525名  
文責: 校長 馬場康弘

## 1年間ありがとうございました

子どもたちは、本日で令和3年度の全ての教育課程を修了することができました。

振り返ってみますと、新型コロナウイルスの感染防止対策に追われた1年間でした。特に、2学期は分散登校やオンライン学習でスタートしました。また、3学期からはオミクロン株の急速な流行に伴い、一部学級閉鎖や学年閉鎖を行うことになりました。学校行事等も変更に変更を重ねましたが、できない理由を考えるよりも何とかできることを考えながら全職員で知恵を振り絞って教育活動に当たって参りました。子どもたちもそうした状況の中にも関わらず柔軟に対応してくれました。

こうした激動の1年間でしたが、何とか本日の修了式を迎えられましたのも、本校教育に対しご理解とご協力を賜りました保護者の皆様方をはじめ、カ合地域の関係者の皆様方のご尽力の賜物であると、心より感謝申し上げます。我々職員一同、できる限りのことを精一杯やってきましたが、保護者の皆様方のご期待に十分応えられなかった面も多々あったかと思えます。この点は謙虚に反省し、今年度の取り組みの検証を行った上で、次年度の教育活動に必ず活かして参る所存です。

保護者や地域の皆様方、1年間本当にお世話になりました。来年度もどうぞよろしく申し上げます。

## 6年生の門出の日

昨日、92名の6年生が、この歴史と伝統あるカ合小学校を巣立っていきました。これまでのように呼びかけの言葉や歌などは残念ながらできませんでしたが、「とねりこ音楽会」で発表した曲を、学級ごとに演奏してくれました。3学級とも心をつなぐ合わせ感動的な演奏を披露してくれました。会場からも割れんばかりの大拍手が起きました。

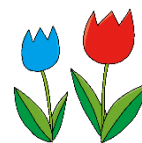


この1年間、多くの感動とリーダーシップを発揮してくれた卒業生に、心からエールを送ります。卒業生のみなさん、それぞれの夢に向かって大きく羽ばたいてください！

また、前日の午後、児童代表として5年生が学校に残り、卒業式の準備をしてくれました。きびきびした動作で、皆と協力しながら会場や6年教室などを丁寧に仕上げていきました。カ合小学校のバトンは、6年生から5年生へ立派に引き継がれていることを強く感じた瞬間でした。5年生のみなさん、来年度のカ合小学校を頼みますよ！



## 4月の主な行事



- ・11日(月) 始業式
- ・12日(火) 給食開始、入学式準備
- ・13日(水) 入学式(2~6年指定休業日)
- ・14日(木) 身体測定
- ・15日(金) 委員会活動
- ・18日(月) 1年生給食開始、職員会議
- ・19日(火) 全国学力・学習状況調査(6年生) 視力測定(～5/2まで)
- ・21日(木) 地震避難訓練、検尿1次
- ・22日(金) 授業参観、学級懇談会
- ・28日(木) 歓迎遠足

☆上記の行事予定は、3月24日現在のものです。今後のコロナの状況によっては変更も予想されます。その際は、新年度になりましてお知らせいたします。

## 修了式（1～5年） 校長講話

R4,3,24 実施



みなさん おはようございます。

昨日、92名の6年生が、この歴史と伝統のある力合小学校を卒業していきました。そして、今日で3学期が終了します。先ほど各学年の代表の人に「修了証」を渡しましたが、修了証には、今の学年を立派に終えることができましたよという意味があるのです。ただ、人は決して一人では生きていけません。こうした機会に、みなさんを応援していただいたお家の人をはじめ、先生方やお友達など、自分に関わる全ての人に「感謝の心」をもってほしいと思います。

また、1年生と4年生の代表の人が、「1年間を振り返って」作文を発表してくれました。この1年間のできるようになったことや頑張ってきたこと、これからの課題などについて話してくれました。代表以外の皆さんも、きっとこの1年間を振り返り、自分を見つめ直していることでしょう。そして、次の学年に向けて希望と目標をしっかり持ってほしいと思います。

さて、明日から春休みが始まります。春休みは夏休みや冬休みと違って、休み中に学年が一つ上がるということです。それで、新学年をスムーズにスタートできるように、校長先生から2つお願いします。頭と心で覚えてください。

1つ目は、これまでも言ってきたことですが、「命を大切にしてください。」ということです。春の陽気に誘われ、何となく心が落ち着かず、思わぬ交通事故や事件に巻き込まれることが起きがちな休みです。小学生の交通事故は、「道路への飛び出し」と「安全確認不足による事故」が、大きな原因となっています。また、最近の車は、エンジンの音が小さい車もあります。目だけではなく耳もしっかり使いながら、たった一つのかげがえのない命を守りましょう。また、不審者情報も入ってきています。「自分は大丈夫だ」と油断せず、常に危険を予測して行動してください。「いかのおすし」という言葉もありますね。知らない人についていけない。声をかけられても車にのらない。知らない人に連れていかれそうになったらおおごえを出す。声が出ないときのために防犯ブザーや笛を持っておきましょう。声をかけられたり、追いかけられたりしたらすぐ逃げる。怖いことにあったり、見たりしたらす

すぐに大人にしらせる。大事なことです。もう一度確認しておきましょう。

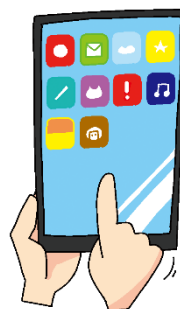
2つ目は、「携帯電話やタブレットは、力合小ネットルール」を守って正しく使いましょうということです。携帯電話やタブレットは、正しい使い方をすれば、とても便利な道具です。世界の裏側で起きている出来事も、一瞬のうちに知ることができます。しかし、間違った使い方をすれば、人を傷つけたり、時には人の命を奪ったりする恐ろしい凶器となるのです。特に、メールなどで人の悪口を書き込んだという話を聞きますが、これは、人として絶対許されないとともに卑怯なことです。お家の人や先生の目の前で書けないことは、メールにも絶対書かないというのが最低限のルールです。

この最低限のルールを守れない人は、携帯電話やタブレットは使わないでください。

「力合小ネットルール」の一番下には、こんなことが書いてあります。「情報モラルを知らないまま使用するの、交通ルールを知らずに車を暴走させているのと同じです。」と。

校長先生は、携帯電話やタブレットなどで、友達が悲しむ姿を見るのがとてもつらいです。どうかみなさん、携帯電話やタブレットは、自分や友達に便利で役に立つ道具となるよう、正しく使ってください。お願いしましたよ。

それではみなさん17日間の春休みを楽しく過ごしてくださいね。そして、新しい気持ちで新学年の始業式で会いましょう。



3月に入り、携帯電話やタブレットに関わるトラブルが続けて起きました。これからの時代、SNSを全く使わないということは現実的ではありません。どのような使い方をするかを子どもに考えさせ、決めたルールを守りながら正しく使う力を学校と家庭で連携して付けていきたいと思います。